資料 4-1

「持続可能」で「自立的」な地域社会の形成に向けて（中間整理案）

成熟社会への発展

工業社会下でのモノの充足、所得の向上、インフラ整備の進展等

↓

非貨幣的価値への関心の高まり

モノ→心、参加、生き甲斐、趣味など個人の「満足度」向上への価値観の進化

その実現の場としての地域社会、コミュニティの価値

↓

多様な地域社会の存在価値が向上

↓

生産・消費構造の変化

（大量生産・消費→個別的・多様な生産・消費）

～生産構造面～

工　業　社　会

・生産(大企業中心)と消費(地域)が乖離

・地域の誇りの喪失(全国的に地域が画一化)

↓

知　識　社　会

・「労働力」から「知恵の源泉」へ人的資本の意味が変化

・知識・サービス産業の都市集中など地域間格差拡大の可能性も懸念

・時代に相応しい新しい価値を地域から作ることが重要

・大規模な生産施設を前提としない知識社会では地方にも大都市とは異なる価値に基づく自立のチャンスが顕在化

～消費構造面～

・消費原資の偏在

政府部門の財政制約の深刻化

企業部門の国内投資意欲の減退

個人資産の蓄積（金融資産 1400 兆円）

↓

・消費の主体が「個人」に変化

地域社会の『自立』に向けたチャンスが拡大

ひとりひとりの『人』が資源・資本となり、これらの『人』の潜在能力（知恵）の発揮が重要

人口減少社会の到来

地方部に限らず大都市を含む全国で人口減少

↓

新たな地域の価値を持った『持続可能』な地域社会の構築が不可欠な視点

『持続可能』(※) で『自立的』な地域社会を支えるのは資源・資本たる『人』

※「成長志向」から「持続可能性の確保」に価値観を転換すれば実現性も高い

資源・資本たる「人」による地域の選択（人に着目した地域間競争）

海外への人材流出（世界規模での競争への意識）

＜地域が選択される要素＞

（在住者）

①安定した収入・雇用の確保

（域内外からの資金獲得）

（論点ペーパー４．に関連）

②福祉・医療などの生活サービスの安定供給

（論点ペーパー３．に関連）

③地域への誇り・愛着

④・・・

（移住者、反復的滞在者等）

①コミットメント、自己実現の可能性

（論点ペーパー３．、４．に関連）

②ホスピタリティ（開かれたコミュニティ）

③地域ブランド、個性

（論点ペーパー４．に関連）

④居住環境（論点ペーパー４．に関連）

⑤・・・

○自然環境、アメニティ

○防災、防犯性の確保　　他

⇕

コミュニティの充実（論点ペーパー２．に関連）

⇕

ソーシャル・キャピタル（個人・グループなどの間のネットワーク、信頼関係）